



改めて「共育」について考える

校長 大熊 龍也

先日実施した年度末の参観日には、ご多用の中多数の方々のご来校をいただきました。ありがとうございました。1年間の残りもあとわずかですが、今子どもたちは6年生を送る会や卒業式に向けて準備に取り組んでいます。一つ階段を登ろうとしている子どもたちの指導に、懇談でお話しいただいたことを生かしてまいります。

また、3学期の初めに取り組んだ「生活リズムチェックシート」には、保護者の方から「宿題への取組方が以前と変わり、自分で考えるようになってきました。間違いはあるがよい方向性になっているのでガンバって！」などといった、具多的な取組への評価と励ましを記載していただいているものが多くありました。ご多用の中目を通し、記入いただいたことに感謝しています。

こうした参観日や生活リズムチェックシートなどの取組は、まさに保護者の方と学校が同じ方向を向いて子どもたちを育てる「共育」の具体の姿となります。

□3. 1 1の震災の経験から 子どもと地域の相互関係

先日、2月1日に胆振地域子ども隊育成会研究協議会・安全対策研究協議会に参加してきました。そこでの講演の概要をお知らせします。講演題は「災害から命を守る～災害時の経験から子どもたちと地域の繋がり強化を考える」。講師は、文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官の長田 徹氏でした。長田氏は、宮城県仙台市教育委員会に在職中に、東日本大震災を経験された方です。豊富なデータの分析から導き出されたことや震災時の状況や聞き取りからされるお話には説得力がありました。特に、印象的だったいくつかのこトバを紹介します。

- ・自ら学ぶ人を育みたい
- ・一見遠回りに思えることが大事な場合がある
- ・低学年には大きな夢を 高学年には具体的な目標を もたせたい

また、「学力の高い学校ほど地域住民とのつながりが強い」というデータからの読み取りも紹介いただきました。講演で紹介された震災での話です。避難してきたお年寄りが4階まで避難する際、後ろから背中を押し続けた子がいたそうです。遠くの電柱にかりうじてつかまって水がひくのを待っている方に、一晩中交代で声をかけ続けた中学生がいたそうです。その中学校のモットーは「最後こそ肝心」。救助へりに助けられた人がへりに乗り込み、飛び去っていくまで声をかけ続けたそうです。

ある避難所では、トイレ掃除を当番制にすることを中学生が提案。なかなか行き届かない情報を共有できるように、避難所の壁に新聞紙を貼り出すことを実行。掃除も新聞も学校で取り組んでいることだからこそ子どもたちからの提案がなされたのであろうとのことです。日頃から防災訓練をしていた記憶から、簡易トイレの場所や防災備品を探し出してきた子もいたそうです。その中学生は「感じたら動け」が学校のモットーだったそうです。

□保護者・地域とともに子どもを育む「共育」を改めて考える

震災ではありませんが、新型コロナウイルス感染症が拡大した時期に、いつも中学生の踊りを楽しみにしてくれていたご夫婦に届けようと、感染症対策を徹底するからと申し出て、その方の家の前まで行き、踊りを見せに行った中学生もいたそうです。

日頃から、人とつながりをもち、かかわっていることで、子どもたちには自己有用感が生まれ、自己肯定感が生まれます。そして、いざというときに動ける子になることも期待できる、そんな例ではないでしょうか。

地域の方とのつながりをもつことは、直接的に何かを子どもに教えるよりも、一見「遠回り」思えるかもしれませんが、つながりから自己有用感や自己肯定感を得て、教師ではないロールモデルから学ぶことが多くあります。

保護者の方そして地域の皆さんと関わる中で、子どもたちは、生きていくための「はじめの一步」を学べるのではないかと感じています。そして、その「一步」を子どもたちが積み重ねていけるよう、学校・保護者・地域がタッグを組んでいけたらと思います。よろしく願いいたします。

3. 1 1 東日本大震災から14年となりました。

被災した皆様並びに関係者の皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

雪に恵まれたスキー学習

2/7(金)、毎年5・6年生を対象としたスキー学習をサンライバスキー場で行いました。

当日は、多くの指導員の方、ボランティアの方、保護者の方のご協力をいただきました。

この週は、気温が高くスキー場の雪の具合を心配しておりましたが、前日の降雪でグレンデの状態が良くなり、子どもたちが楽しめるスキー学習となりました。



子供たちのオンラインゲームやSNSの利用について

毎日、多くの子どもたちが学校で生活しているため、トラブルは起こってきます。その中で、学校が、対応の難しさを感じているのは「オンラインゲームやSNS」が発端となったトラブルです。

「オンラインゲームやSNS」等は、家庭で使用していることが多く、お子さんや保護者の方から相談を受けても学校としては、事情を聴くことしかできず、解決に向けて苦慮しています。

オンラインゲームやSNSは、対面ではないため、相手の気持ちを考えずに話したり、言葉で伝えたりすることが多くなります。

子供たちに、「オンラインゲームを止めさせること」や「SNSをやめること」は難しいことです。ですから、ルールを守り、機器の向こうにいる相手の気持ちを考えて上手に使っていくことが大切です。そのため、学校は、年間を通して全学年で外部講師を招き、「スマートフォン安全教室」を実施し、情報モラルの学習を行っております。それに加え、子供たちが上手に使うためには保護者の皆様のご協力が必要となります。保護者の皆様には、お忙しい中と存じ上げますが、ぜひ、お子さんがどんなゲームを誰としているかなど見ていただければと思います。

併せて、子どもたちの筆箱やランドセルなどに付けている「キーホルダー」が増えてきています。「ジャラジャラ」音が鳴ってしまうため、学習に集中できない状況も見られます。万が一破損しても、弁償はできません。保護者の皆様には、改めてお子さんの持ち物を確認していただきますとともに、学習に関係ないものは、ご自宅で保管していただきますようご協力お願いいたします。

3月

行事予定

- 3日(月) 全校朝会 ALT
3～6年6時間授業
5年スクールカウンセラー授業
- 4日(火) フッ化物洗口
- 5日(水) こぐま号(中休み)
6年生を送る会 町会下校指導(最終)
- 6日(木) ALT
- 7日(金) 鬼っ子算数教室(最終)
1年リリー文化幼稚園とのオンライン交流
第5回学校運営協議会
- 10日(月) ALT 3～6年6時間授業
- 11日(火) フッ化物洗口
- 12日(水) PTA朝の交通安全街頭指導(最終)
- 13日(木) ALT
スクールカウンセラー来校日(最終)
- 14日(金) 卒業式全体練習①(関係学年のみ)
2・3・6年弁当日
あおぞら学級2～4年弁当日
すみれ学級1組2～3年弁当日
すみれ学級2組5～6年弁当日
- 17日(月) ALT 3～6年6時間授業
卒業式全体練習②(関係学年のみ)
- 18日(火) フッ化物洗口
卒業式総練習(関係学年のみ)
- 19日(水) A日課4時間授業給食なし(全校) こぐま号
第54回卒業証書授与式
- 20日(木) 春分の日
- 24日(月) 修了式・離任式
- 25日(火) 年度末休業(～31日【月】)
※年度始め休業 4月1日～

各感染症等の感染流行状況や悪天候が予想される場合は、急きょ、予定や内容を変更する場合があります。

いじめアンケート調査結果

第2回の「いじめアンケート調査」の結果を報告いたします。本校では、前回のアンケート同様に「けんか」や「ふざけ合い」であっても、目に見えないところで被害が発生している場合もあるため、背景にある事情を把握し、児童の感じる被害性に着目して、いじめに該当するか否かを判断しております。(これは、全国のどの小学生も同様です)

今回、児童への聞き取りから「いじめ」と認定した件数は72件あり、前回同様、同学年の友達からの悪口や冷やかしかし無視等が多く、理由もなく仲間に入れてくれないという内容もありました。また、アンケート以外にお子さんや保護者の方の訴えにより判明した事案もありました。

全ての事案につき速やかに対応し、解消の方向に向かっておりますが、「解消した」となるまでは最低3か月間状況を注視しなければならないため、学校では注意深く見守っていきます。

学校は、今後とも、児童に対しての「いじめ」の未然防止、早期対応に努めております。ご家庭でお子さんに気にかかる様子がありましたら、遠慮なくご相談ください。